

各種相談のご案内

- 無料法律相談(要予約) 市民相談室**
7月17日(月)午前9時~正午(定員6人)
予約/7月13日(休)午前9時から電話でのみ受け
(定員に達し次第締切ります)
◎秘書広報課(内線251)
- 困りごと相談 市民会館**
7月11日(火)午前10時~午後3時(受付は午後2時30分
まで)直接会場にお越しください。
「人権相談」人権などの問題
「行政相談」市などの仕事への意見・要望など
「民生相談」家庭内の民事問題など
◎秘書広報課(内線251)
- 乙訓特設人権相談**
向日市・市民会館/7月11日(火)・25日(火)午前10時~午後3時
長岡京市・市民相談室/7月10日(月)・18日(火)午前10時~午後4時
大山崎町・相談室/7月14日(金)・21日(金)・28日(金)午後1
時30分~3時30分 ※いずれかの相談所にお越しください。
◎秘書広報課(内線251)
- 年金相談 市民相談室**
7月6日(休)・13日(休)午前10時~午後4時
◎保険年金課(内線218,246)
- 消費生活相談 市民相談室**
7月5日(休)・12日(休)午後1時~4時
◎産業振興課(内線241)
- 育児相談**
7月6日(休)・13日(休)午前10時~午後3時・第4保育所
7月7日(金)・14日(金)午前10時~午後3時・第2保育所
◎第2保育所☎931-4001、第4保育所☎922-0004
- 家庭児童相談 家庭児童相談室**
毎週月~金曜日午前10時~午後4時
お子さんについてご心配のある人、どんな相談にも応じます。
◎家庭児童相談室☎933-1199
- 経営安定特別相談 商工会館**
税務専門相談/7月4日(火)午後1時~4時30分
経営専門相談/7月11日(火)午後1時~4時30分
◎向日市商工会☎921-2732

生オケ大賞出場者募集

8月27日(日)午後2時30分
長岡京記念文化会館

あなたも生バンドをバックに大舞
台で熱唱してみませんか。ご家族、
職場など多数の参加をお待ちし
ています。

■応募対象者 乙訓2市1町に在
住(勤)する16歳以上の人(過去
に入賞された方は除く)15人(組)
※申込多数の場合は、7月29日(土)
午後2時から長岡京市中央公民
館市民ホールで選考会を開催し
ます。

■申込み 7月1日(土)~14日(金)に、
向日市民会館の窓口へ。

◎長岡京記念文化事業団☎955-5711

カレンダー 7/1▶14

- 1日(土) 国民安全の日
市民防火の日
むこう愛菜市/午前9時~・保健センター
- 3日(月) 福祉問題審議会/午後2時30分~・第5保
育所
- 8日(土) むこう愛菜市/午前9時~・市民温水プール

safe driving

安全運転を心掛けましょう

酒酔い運転や信号無視の死亡事故に直接結びつく
悪質、危険性の高い違反が増加しています。
交通事故は違反をした人だけでなく、罪のない人の
命を奪うこともあります。
常に安全運転することがドライバーのつとめです。
京都府向日町警察署/乙訓交通安全協会/乙訓地域
交通安全活動推進委員

向日市の水道

上下水道部業務課
(内線805)

シリーズ 2 広域的な水道整備

地下水の低下が懸念される乙訓2市1町をはじめ、
水需要増加が予想される山城地域を合わせた府下南
部17市町村は、京都府知事に対して、昭和59年2月に
京都府南部地域における広域的な水道整備を要望しま
した。

その結果、京都府は昭和60年9月に「京都府南部地
域広域的な水道整備計画」を策定され、府議会全会派の
同意を得られました。この計画の中で、乙訓地域にも府
営水道が導入されることとなりました。

この府営水道(乙訓系)は、水源を船井郡日吉町に建
設された日吉ダムに求め、下流の保津川(嵐山渡月橋
上流約1.6km)から取水されます。

その後、導水トンネルを経て西京区桂坂にある乙訓
浄水場で水道水として処理され、乙訓2市1町に送水
管で送られてきます。

※日吉ダム:治水・利水など多目的に使用されるダムとして平
成10年4月から運用を開始した。



2000 国勢調査

平成12年10月1日(日)

シリーズ④

国勢調査をもっと知りたい②

国勢調査と人口センサス

「国勢調査」は、英語の人口センサス「Population
Census」を訳したもので、全国的な人口の全数調査
を意味しています。

Censusの語源は、古代ローマのセンソール
(Censor)という職名の役人が、市民登録や税の徴収の
ほかに、人口調査を行ったことに由来しています。

我が国で最初に「国勢調査」という言葉が公式に使

用されたのは、明治29年ということになり、また、個人
としては、明治26年の臼井喜之作氏ということになります。

もっとも、臼井氏の論文の中に、「彼の日本新聞は客
年既に国勢調査の必要を論じて曰く……」という文が
あり、日本新聞が、実際に「国勢調査」という言葉を使用
したとすれば、これが、我が国で最初の使用例となります。

なお、明治29年以降も、民勢調査、人口調査などの言
葉が使われたようですが、なかには、「詮査ス」、「詮察
ス」のように、英語のセンサスを漢字に当てはめたよう
なものまでありました。このようにいろいろあった
「Population Census」の日本語訳も、明治35年
(1902年)12月、「国勢調査二関スル法律」が成立して
以来、「国勢調査」として定着することとなりました。

総務庁統計局統計センター・ホームページ「2000年国勢調査」より

お問い合わせ 総務課行政係(内線294)

BOOKS

新着図書情報

図書館☎931-1181

一般図書

- ▶ 苦手な人間関係がラクになる~自分力がつく
35の知恵~ 鷲田小彌太著 海竜社
- ▶ ババだからできる! 鈴木光司著 新潮社
- ▶ 星空を歩く~巨大望遠鏡が見た宇宙~
渡部潤一著 講談社
- ▶ 四季の保存食 伊藤睦美著 扶桑社
- ▶ 書齋の造りかた~知のための空間・時間・道具~
林望著 光文社
- ▶ 花壇と菜園の土づくり入門
村上睦朗ほか著 家の光協会
- ▶ あなたが生きる話し方 秋山和平著 NHK出版
- ▶ 猫だましい 河合隼雄著 新潮社
- ▶ 実朝私記抄 岡松和夫著 講談社
- ▶ きみは誤解している 佐藤正午著 岩波書店
- ▶ 人生道しるべ 瀬戸内寂聴著 文化出版局
- ▶ タイムライン
マイクル・クライトン著 早川書房